

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第2号（平成23年度）

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum
No.2 (for the fiscal year of 2011)

目 次

I 展覧事業.....	2	V 管理運営.....	11
1. 常設展		1. 組織・職員	
2. 企画展		2. 鳥居龍蔵記念博物館協議会	
3. 特別陳列		3. 視察等来訪者	
4. その他の展示			
5. 展示関係出版物		VI 観覧者統計.....	13
II 調査研究事業.....	7	VII 施設の概要.....	15
1. 研究成果の公表		1. 沿革	
III 資料収集保存事業.....	8	2. 施設の概要	
1. 館蔵資料数		VIII 例規.....	16
2. 資料・写真・映像等の提供			
3. 資料閲覧			
IV 普及教育事業.....	9		
1. 普及行事			
2. 講師の派遣			
3. テレビ・ラジオへの出演等			
4. インターネットによる情報発信			
5. 普及教育関係出版物			

I 展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における龍蔵の調査ルートをLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンも設置している。

常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。23年度は、開館1周年を記念した企画展及び特別陳列を各1回開催したほか、文化の森の共同事業の一環としての小展示も行った。

1. 常設展

(1) 展示構成

■第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。龍蔵が撮影した写真、龍蔵が採集した民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

■第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

■第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居龍蔵の学問的な成果が学べるとともに、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

に、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供）
2. 体験展示（土器パズル、カメラ体験、民族衣装の試着など）
3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

2. 企画展

(1) 企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」

鳥居龍蔵記念博物館開館1周年記念事業の一つとして開催した。

鳥居龍蔵は、5回にわたる台湾調査を実施した。この調査では、日本人として初めて、人類学調査にカメラを導入し、変化の著しかった原住民族の暮らしぶりを記録したことが特筆される。

こうした鳥居自身の調査についてはもちろん、森丑之助や中島藤太郎ら協力者、伊能嘉矩や田代安定ら当時台湾調査を行った人類学者の活動についても紹介した。鳥居ら人類学者が収集した民族資料を中心とする豊富な実物資料、鳥居が撮影した写真を通じ、19世紀末～20世紀初頭の調査の様子や台湾原住民族の生活について具体的に示した。さらに、近年、台湾で鳥居に対する評価が高まってきていることも紹介した。

●主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館・徳島県立博物館

●特別協力 国立民族学博物館・財団法人千里文化財団

●会場 徳島県立博物館企画展示室

●会期 平成24年1月28日（土）～3月11日（日）
（開館日数38日）

●展示構成とおもな展示資料

①鳥居龍蔵の台湾調査

- ・鳥居龍蔵・森丑之助作成の台湾石器時代遺物分布図（写真） 国立台湾博物館提供
- ・タタラ 東京大学総合研究博物館蔵
- ・フィールドノート、手書き地図、書き込みのある地図 当館蔵
- ・パイワン族の建具 関西大学博物館蔵



鳥居龍蔵の見た台湾

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館一周年記念企画展

2012年
1月28日[土]—3月11日[日]

開館時間 ★ 午前9時30分～午後5時
休 日 ★ 月曜日
会 場 ★ 徳島県立博物館 11階 企画展示室
観 覧 料 ★ 一般 200円 / 高校・大学生 100円 / 小・中学生 50円
※20名以上の団体予約料(50名以上予約) 1000円
※土・日・祭日は小学生以下は無料(学校教育での利用は無料)
主 催 ★ 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 徳島県立博物館
特別協力 ★ 国立民族学博物館 財団法人千里文化財団

文化の森総合公園
〒770-8070 徳島市八万町向山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 開館一周年記念企画展

鳥居龍蔵の見た台湾



ヤミ族の首飾り



新高(ツォウ)族の籠



ブロンズの石版
(いづれも国立民族学博物館蔵)

今回の企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館の開館1周年記念事業の一つとして開催するもので、鳥居龍蔵(1870-1953)の研究の土台となった台湾調査に焦点をあてることにしました。

鳥居龍蔵は、1896(明治29)年から台湾での人類学調査に着手し、1911年までの間に、合計5回の調査を行いました。台湾のほぼ全域を調査し、すべての原住民族の言語・風俗習慣を記録したほか、考古学的な面でも大きな足跡を残しました。これらの調査にカメラを用い、原住民族の生活を記録した多くの写真を残しています。この企画展では、鳥居龍蔵が採集した台湾の民族・考古資料や撮影した写真などを紹介します。鳥居龍蔵による台湾調査の一端にふれていただければ幸いです。

I 鳥居龍蔵の台湾調査
鳥居龍蔵は、日清戦争(1894～1895)の結果、日本の領土となった台湾で、5回の調査を行いました。台北にある円山貝塚や台湾南東に浮かぶ紅頭嶼など、台湾のほぼ全域を巡り、すべての原住民族を調査、記録しました。これらの調査で、鳥居龍蔵は日本人の人類学者として初めてカメラを用い、自ら撮影しました。

II 人類学調査の諸相
日本にとって、新たな領土となった台湾の統治を円滑にするためには、その地域の多様な民族構成や生活文化を知ることが必要でした。そのため、実地調査が盛んにおこなわれました。台湾総督府から調査依頼を受けた帝國大学(現在の東京大学)は鳥居龍蔵を派遣しました。鳥居龍蔵のほか、台湾総督府の職員となった伊能嘉矩(1867-1925)や森丑之助(1877-1926)、田代安定(1856-1928)ら、多くの研究者が台湾調査を行いました。

III 台湾原住民族の記録
鳥居龍蔵は、言語、伝承、風俗習慣の違いから原住民族を9部族に分類しました。その後、森丑之助らによる研究によって、より詳細な分類が行われました。そのような人類学者たちが収集した膨大な民族資料や写真を通して、19世紀末から20世紀初頭の台湾原住民族の暮らしを知ることができます。

〈会期中の関連行事〉

- ★ **ギャラリートーク** 1月28日(土) 13:30～14:30
会場 企画展示室 ※観覧料が必要です。
講師 野林厚志氏(国立民族学博物館准教授/企画展監修協力者)
- ★ **展示解説** 2月5日(日)・2月26日(日) 14:00～14:30
会場 企画展示室 ※観覧料が必要です。
- ★ **記念講演会** 2月19日(日) 13:30～15:00
会場 文化の森イベントホール ※参加無料
講師 富岡真央子氏(福岡大学准教授)
- ★ **記念シンポジウム**
「鳥居龍蔵の足跡を考える——台湾・中国・朝鮮半島」
3月4日(日) 13:00～17:00
会場 文化の森イベントホール ※参加無料
講師 山路壽徳氏(関西大学名誉教授)
濱田和哉氏(奈良学芸文化財調査センター主任)
吉井秀夫氏(京都大学准教授)

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 〒770-8070 徳島市八万町向山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/

「鳥居龍蔵の見た台湾」チラシ

- ・ 円山貝塚などの出土遺物 関西大学博物館・東京大学総合研究博物館蔵
- ・ 安藤正楽宛て鳥居龍蔵の書簡 個人蔵(四国中央市暁雨館保管)
- ② 人類学調査の諸相
 - ・ 台湾総督府・台湾旧慣調査会の刊行物 当館蔵
 - ・ 伊能嘉矩・森丑之助関係写真 遠野市立博物館・新宮市立佐藤春夫記念館提供
 - ・ 伊能嘉矩・田代安定・森丑之助関係資料 当館蔵
 - ・ 土器・石器等 東京大学総合研究博物館蔵
- ③ 台湾原住民族の記録
 - ・ 台湾原住民族関係民族資料 国立民族学博物館
 - ・ 台湾原住民族の写真 東京大学総合研究博物館提供、当館蔵
- ④ 鳥居龍蔵の台湾調査の現代的意義
 - ・ 鳥居龍蔵宛て宋文薫氏書簡 当館蔵
 - ・ 台湾で刊行された鳥居龍蔵関連図書 当館蔵
 - ・ 鳥居龍蔵展会場写真 順益台湾原住民博物館提供

- 観覧料
一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円
- 観覧者数 2,599人
- 関連行事
 - ① ギャラリートーク
 - 第1回：日時 1月28日(土) 午前11時～正午
参加者 41人
 - 第2回：日時 1月28日(土)
午後1時30分～2時30分
参加者 38人
 - 講師(1・2回とも)
野林厚志氏(国立民族学博物館准教授・企画展監修協力者)
 - ② 展示解説
 - 第1回：日時 2月5日(日)
午後2時～2時30分
参加者 39人
 - 第2回：日時 2月26日(日)
午後2時～2時30分
参加者 21人

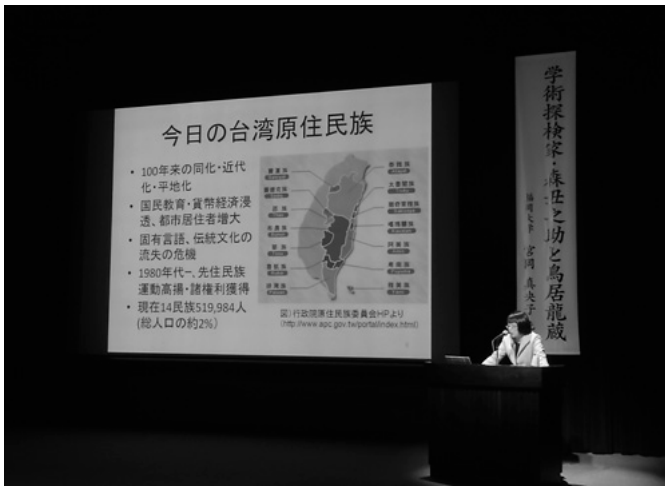
4 展覧事業



ギャラリートーク

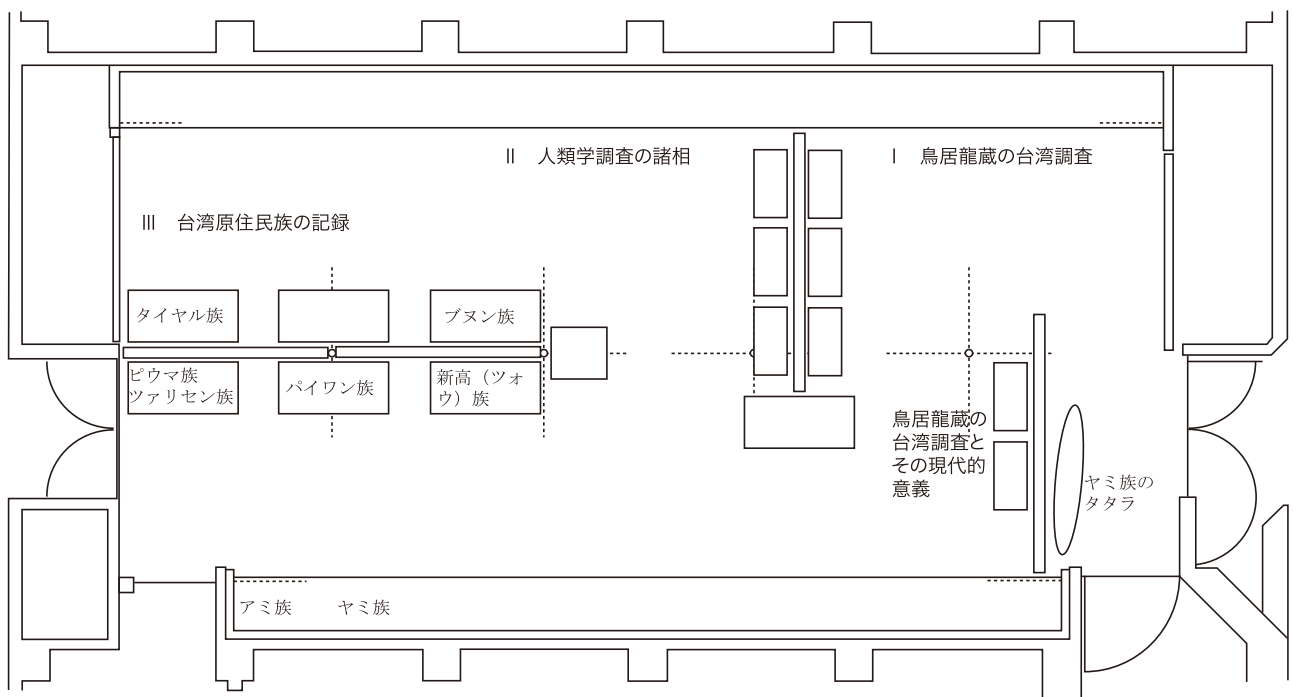


記念シンポジウム



記念講演会

0 2m



「鳥居龍蔵の見た台湾」展示配置図

③記念講演会

日時 2月19日(日)午後1時30分～3時
 会場 文化の森イベントホール
 講師 宮岡真央子氏(福岡大学准教授)
 演題 「学術探検家・森丑之助と鳥居龍蔵」
 参加者 75人

④記念シンポジウム「鳥居龍蔵の足跡を考える—台湾・中国・朝鮮半島—」

日時 3月4日(日)午後1時～5時
 会場 文化の森イベントホール
 講師・演題

山路勝彦氏(関西学院大学名誉教授)「鳥居龍蔵と冒険的精神：明治の人類学者」
 武田和哉氏(奈良市埋蔵文化財調査センター主任)「鳥居龍蔵の内モンゴル調査と遼代遺跡研究—遼代史研究の現在—」
 吉井秀夫氏(京都大学准教授)「鳥居龍蔵の朝鮮半島調査—鳥居龍蔵記念博物館所蔵資料の検討を中心に—」
 参加者 75人

3. 特別陳列

(1) 特別陳列「鳥居龍蔵の見た北東アジア」

鳥居龍蔵記念博物館開館1周年記念事業の一つとして開催した。

鳥居龍蔵は、東京大学を辞職した後、鳥居人類学研究所を設立して、きみ子夫人ら家族とともに北東アジア(中国東北部・内モンゴル)の調査を行った。

その調査で撮影された写真は、鳥居が評議員・研究員を務めた東方文化学院東京研究所に残され、現在は東京大学東洋文化研究所及び当館に保管されている。

この展示では、これらの写真群の一端を紹介した。

- 主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館・徳島県立博物館
- 会場 文化の森多目的活動室
- 会期 平成23年10月29日(土)～12月4日(日)
(開館日数32日)

●展示構成とおもな展示資料

次のテーマに分けて写真パネルを展示するとともに、ガラス乾板・地図も展示した。

- ①調査隊の一行と内モンゴルの自然
- ②塔のある風景
- ③慶陵
- ④慶州城白塔
- ⑤都城
- ⑥公的施設

⑦信仰の世界

- ⑧ドルメン・巨石遺跡
- ⑨有史以前の遺跡
- ⑩村の景観と風俗・石造物

鳥居龍蔵記念博物館開館1周年記念 特別陳列

鳥居龍蔵の見た北東アジア

鳥居龍蔵による調査に際して撮影された、東方文化学院旧蔵写真(東京大学東洋文化研究所・鳥居龍蔵記念博物館所蔵)が語る北東アジアの世界を紹介します。

2011年10月29日(土)～12月4日(日)

- 主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館／徳島県立博物館
- 開館時間 午前9時30分～午後5時
- 休館日 月曜日
- 会場 文化の森多目的活動室

入場
無料



中国・内モンゴル 慶州城白塔

<p>講演会</p> <p>日時●11月23日(水・祝) 午後1時30分～午後3時</p> <p>会場●徳島県立博物館3階 講座室 講師●古松崇志氏(岡山大学准教授) 演題●鳥居龍蔵の契丹遺跡調査 —遊牧王朝の足跡を追って</p>	<p>展示解説</p> <p>日時●11月13日(日)・27日(日) ともに午後1時30分～午後2時</p> <p>会場●文化の森多目的活動室</p>
--	--

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
 〒770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園内 TEL 088-668-2544
<http://www.tori-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

「鳥居龍蔵の見た北東アジア」展チラシ



講演会

6 展覧事業

- 観覧料 無料
- 観覧者数 4,534人
- 関連行事

①展示解説

第1回：日時 11月13日（日）
午後1時30分～2時

参加者 34人

第2回：日時 11月27日（日）
午後1時30分～2時

参加者 36人

②講演会

日時 11月23日（水・祝）午後1時30分～3時

会場 県立博物館3階講座室

講師 古松崇志氏（岡山大学准教授）

演題 「鳥居龍蔵の契丹遺跡調査—遊牧王朝の足跡を追って—」

参加者 46人

4. その他の展示

(1) 文化の森阿波おどりフェスタ「鳥居龍蔵が見た『祭り』『踊り』」

文化の森の連携事業に参画し、鳥居龍蔵が撮影した写真のうち、「祭り」「踊り」に関するものをパネル展示した。

- 会場 県立博物館常設展ロビー及び通路
- 会期 平成23年7月20日（水）～8月28日（日）
- 観覧者数 4,038人

(2) 2012年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会（文化の森振興総局・生涯学習政策課・人権教育課）との共催で、人権問題啓発展（識字学級生の作品展）を行った。

- 主催 文化の森6館・徳島県教育委員会
- 期間 平成23年12月6日（火）～12月11日（日）
- 入場者数 383人

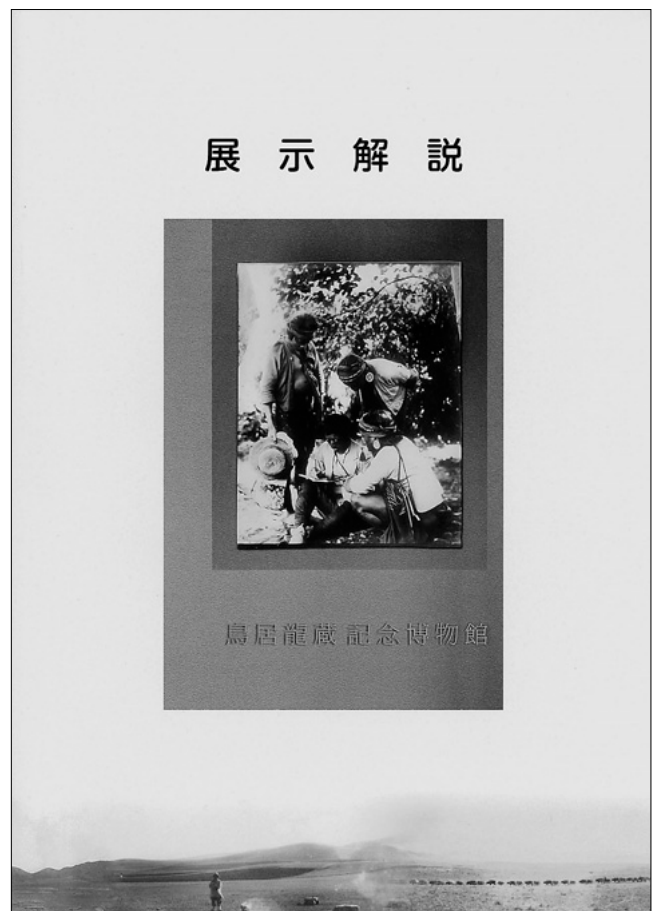
5. 展示関係出版物

(1) 常設展解説書

- 展示解説
2011年11月1日発行、A4判、32ページ、1,000部
- 展示解説第2集「地図に見る鳥居龍蔵の足跡」
2012年3月31日発行、A4判、20ページ、500部

(2) 企画展パンフレット

- 企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」パンフレット
2012年1月28日発行、A4判、16ページ、4,000部



展示解説

Ⅱ 調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいく方針である。

現在、専任の学芸スタッフ2名を中心に、兼務職員とともにこの業務に携わっている。

1. 研究成果の公表

(1) 鳥居龍蔵記念博物館刊行物

平成23年度は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告を創刊する予定で投稿規定等を定め、準備を進めた。しかし、業務状況を踏まえて発刊を延期したため、該当はない。

ただし、23年度に発行した常設展の解説書等には、開館準備段階における調査研究の成果を盛り込んでおり、多少なりとも成果の公表を進めることができた。

(2) 公表論文・報告・記事等一覧

〈一般著述〉

石尾和仁（2011. 4）阿波圏：まもなく開館半年。徳島新聞 4月23日朝刊。

石尾和仁（2011. 6）阿波圏：天守閣への憧憬。徳島新聞 6月18日朝刊。

石尾和仁（2011. 6）コレクション：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館。博物館研究，46（6）：32。

石尾和仁（2011. 8）阿波圏：夏の風物詩。徳島新聞 8月13日朝刊。

石尾和仁（2011. 9）阿波圏：鳥居きみ子とモンゴル音楽。徳島新聞 9月10日朝刊。

石尾和仁（2011.10）阿波圏：義経伝説の魅力。徳島新聞10月8日朝刊。

石尾和仁（2011.11）鳥居龍蔵と台湾。徳島玉翠会会報，（7）：12-15。

石尾和仁（2012. 1）阿波圏：鳥居龍蔵の見た台湾。徳島新聞 1月27日朝刊。

Ⅲ 資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。平成23年度は、臨時補助員1名及び文化推進員3名の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。24年度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約63,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数としては増加傾向にあると思われる。

また、23年度は、24年度分も含む企画展等の展開計画を意識して、「台湾写真帖」等の台湾関係資料、「北海道写真帖」や「蝦夷葉那志」などのアイヌ関係資料をはじめとして、鳥居龍蔵の自筆原稿や歴史的資料、参考図書を計79点購入した。

2. 資料・写真・映像等の提供

- ①鳥居龍蔵の肖像写真 1点
徳島新聞社（新聞記事掲載）
- ②城山貝塚前の鳥居龍蔵写真 1点
徳島新聞社（新聞記事掲載）
- ③慶陵復元模型の写真 1点
九州国立博物館（出版物掲載）
- ④鳥居龍蔵の肖像写真 1点
千葉県八街市郷土資料館（出版物掲載）
- ⑤鳥居龍蔵の肖像写真 1点
雄山閣（出版物掲載）
- ⑥タイヤル族機織りの写真 1点
徳島新聞社（新聞記事掲載）
- ⑦金海貝塚実測図写真・金海貝塚写真 2点
徳島新聞社（新聞記事掲載）

3. 資料閲覧

- ①金海貝塚実測図・半月城発掘調査実測図
京都大学考古学研究室（吉井秀夫氏）
- ②朝鮮高麗青磁 大阪市立東洋陶磁美術館（鄭銀珍氏）
- ③西都原古墳群調査スケッチ
宮崎県立西都原考古博物館（福田泰典氏）

IV 普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

1. 普及行事

平成23年度は、県立博物館や文化の森のイベントに参加して体験コーナーを開設したほか、企画展関連行事、野外見学を行った。

- ①「博物館こどもの日フェスティバル」(すごろく広場) 5月5日(木・祝)
- ②「文化の森 大秋祭り！」(日光写真を写そう) 11月3日(木・祝)
- ③特別陳列「鳥居龍蔵の見た北東アジア」展示解説 11月13日(日) 34人
- ④特別陳列「鳥居龍蔵の見た北東アジア」記念講演会 11月23日(水・祝) 46人
- ⑤特別陳列「鳥居龍蔵の見た北東アジア」展示解説 11月27日(日) 36人
- ⑥企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」ギャラリートーク 1月28日(土) 第1回41人、第2回38人
- ⑦企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」展示解説 2月5日(日) 39人
- ⑧企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」記念講演会 2月19日(日) 75人
- ⑨企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」展示解説 2月26日(日) 21人
- ⑩企画展「鳥居龍蔵の見た台湾」記念シンポジウム「鳥居龍蔵の足跡を考える—台湾・中国・朝鮮半島—」 3月4日(日) 75人
- ⑪「鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう」 3月24日(土) 7人

2. 講師の派遣

外部機関・団体等からの講師派遣依頼について、業務に支障のない範囲で、普及教育事業の一環として対応している。



鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう

- 6月29日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校美馬校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(協町庁舎)
- 7月4日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校上板校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(上板町老人福祉センター)
- 7月11日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校牟岐校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(牟岐町海の総合文化センター)
- 7月12日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校東みよし校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(東みよし町東部総合福祉センター)
- 8月9日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校小松島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(小松島市総合福祉センター)
- 8月25日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校鳴門校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(鳴門地域地場産業振興センター)
- 9月16日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(県立総合福祉センター)
- 9月28日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校阿南校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(阿南ひまわり会館)
- 10月27日 下田順一 徳島県シルバー大学校吉野川校で講演「鳥居龍蔵の見た北東アジア」(吉野川文化研修センター)

3. テレビ・ラジオへの出演等

- 10月28日 石尾和仁 NHKテレビ「四国イチバン」
(鳥居龍蔵及び鳥居龍蔵記念博物館の紹介)
- 1月28日 高島芳弘 NHKテレビニュース(企画展
「鳥居龍蔵の見た台湾」に関するインタビュー)
放送日不明(取材11月8日)大韓民国KBSテレビ
「歴史スペシャル」(鳥居龍蔵及び鳥居龍蔵記念博物
館の紹介)

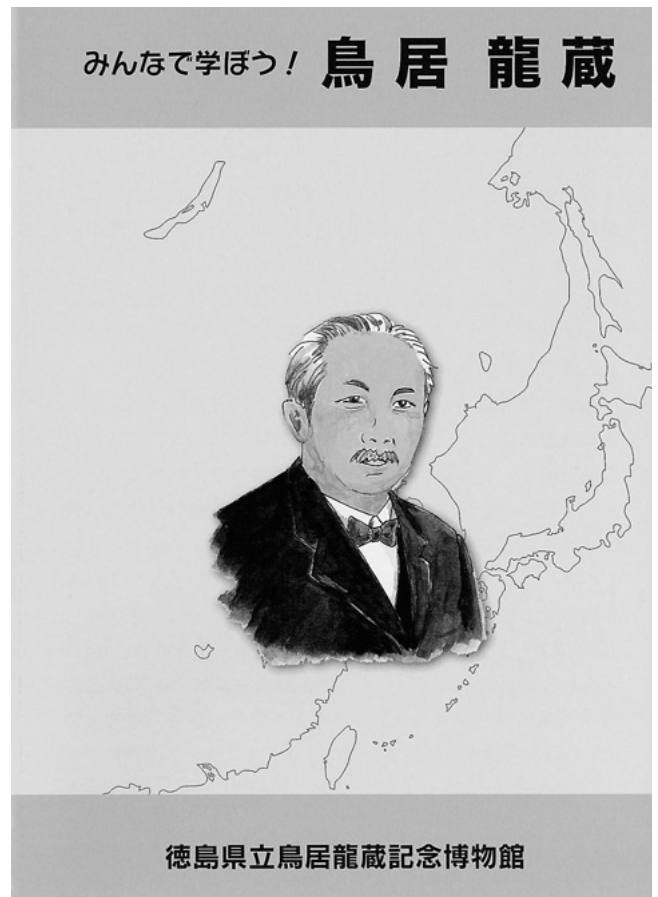
4. インターネットによる情報発信

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材提供などを行っている。内容は次のとおりである。

- ・展示・行事等の案内
- ・アクセス案内・学校教育での利用(遠足)の案内
- ・常設展示の紹介
- ・鳥居龍蔵の生涯(年表)
- ・よみもの「阿波の偉人再発見!鳥居龍蔵」
(県政だよりOURとくしま連載の再掲)
- ・鳴門市にあった旧館(徳島県立鳥居記念博物館)の紹介

5. 普及教育関係出版物

- (1) 学習テキスト「みんなで学ぼう!鳥居龍蔵」
鳥居龍蔵の生涯や業績について簡便に学べるよう、小学校高学年から中学生を主対象としたテキストを発行した。県内全小・中学生をはじめ、関係機関等に配布した。
2011年11月1日発行、A5判、28ページ、69,000部



みんなで学ぼう!鳥居龍蔵

V 管理運営

1. 組織・職員

(1) 組織図（平成24年4月1日現在）

館長 [1] 一副館長 [1] 一学芸課 5 [2]
 (学芸員 2 [2]、
 臨時補助員 1、
 文化推進員 2)
 [] は兼務者数

(2) 職員名簿（平成24年4月1日現在）

館長 高島 芳弘（県立博物館長本務）
 副館長 板東 敏之（県立博物館副館長本務）
 学芸課長 長谷川賢二（県立博物館人文課長本務）
 専門学芸員 石尾 和仁
 主任 下田 順一
 主任学芸員 松永 友和（県立博物館主任学芸員本務）
 臨時補助員 工藤 仁嗣
 文化推進員 一宮 佳代
 文化推進員 土居貴代子

(3) 人事異動

兼務解除・退職：魚島 純一・専門学芸員（平成24年3月31日付）

(4) 平成23年度臨時・非常勤職員

●臨時補助員

峯 義典（平成23.4.1～24.3.31）

●文化推進員（非常勤特別職）

一宮 佳代（平成22.4.1～）

松本稚代子（平成23.8.21～24.3.31）

土居貴代子（平成24.1.4～）

2. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

平成23年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

●23年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：平成23年9月2日（金）

午後1時30分～4時10分

会場：県立博物館講座室

議事

- (1)平成22年度事業の実施状況について
- (2)平成23年度事業計画について
- (3)その他

平成23年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

区分	氏名	役職等
学校教育	下川 純代	県小学校教育研究会理科部会理事 (落合小学校長)
	三木 宏亮	県中学校社会科教育研究会会長 (井川中学校長)
	山下 知之	県高等学校教育研究会地歴学会 副会長（新野高等学校教頭）
社会教育	松下 師一	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館館長補佐兼主任学芸員
	○町田 哲	鳴門教育大学大学院准教授
学識経験	◎玉有 繁	徳島文理大学教授
	野水 祥子	県国際交流協会国際協力コーディネーター
	佐藤 陽香	徳島新聞社編集局文化部記者
家庭教育	松島真由美	八万中学校PTA本部役員
	嶋田由紀子	徳島県立博物館イベントボランティア

◎は会長、○は副会長

3. 視察等来訪者

- 5月15日 関西学院大学 島村恭則氏
 6月15日 石川県立金沢城調査研究所 北垣聰一郎氏
 7月18日 滋賀県立大学 田中俊明氏・定森秀夫氏・中井均氏
 7月22日 中国湖南省訪日教育旅行モニターツアー一行 50名
 9月6日 京都大学 吉井秀夫氏
 10月11日 大韓民国慶尚大学校社会科学大学 金仲燮氏
 10月20日 大阪市立東洋陶磁美術館 鄭銀珍氏

12 管理運営

- 1月29日 文化庁文化財部美術学芸課 栗原祐司氏ほか 2名
- 2月14・15日 宮崎県立西都原考古博物館 福田泰典氏
- 2月17日 中華人民共和国内蒙古大学民族学与社会学院 テクスバヤル氏ほか 5名
- 2月17日 奈良市埋蔵文化財調査センター 武田和哉氏
- 2月22日 国学院大学文学部 青木豊氏ほか（博物館見学実習一行）
- 3月4日 青山学院大学 田村晃一氏・清水信行氏
- 3月6日 国立民族学博物館 齊藤玲子氏
- 3月15日 八尾市立歴史民俗資料館 小谷利明氏・樋口めぐみ氏

VI 観覧者統計

●平成23年度 常設展観覧者数

月	開館日数	有料観覧者										無料観覧者										観覧者総数							
		個人		団体(割引20%)		減免(割引50%)			有料観覧者計	学校教 育					個人				無料観覧者計										
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	大人		高齢者	障害者	計	高校・大学生	小・中学生	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校		計	小学生		中学生	高校生	その他				
4月	26	77	5	1	6	0	0	61	7	68	0	0	157	0	0	0	0	5	491	2	323	7	814	71	8	6	129	1,028	1,185
5月	26	86	19	0	10	0	0	57	8	65	0	0	180	0	0	14	899	1	145	0	0	15	1,044	640	50	36	1,137	2,907	3,087
6月	26	101	10	2	9	0	0	76	8	84	0	0	206	0	0	1	141	0	0	0	0	1	141	132	12	5	84	374	580
7月	27	51	12	0	2	22	0	37	6	43	0	0	130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	249	35	24	961	1,269	1,399
8月	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	886	73	76	4,090	5,125	5,125
9月	26	102	4	0	3	20	0	36	6	42	0	0	171	0	0	2	97	0	0	0	0	2	97	138	28	4	299	566	737
10月	26	68	4	0	23	0	0	46	24	70	0	0	165	0	0	5	388	0	0	0	0	5	388	156	13	11	115	683	848
11月	26	77	2	4	2	0	0	35	2	37	0	0	122	1	90	4	358	0	0	0	0	5	448	336	14	16	1,085	1,899	2,021
12月	24	70	4	0	2	0	0	22	5	27	0	0	103	0	0	2	65	0	0	0	0	2	65	92	13	7	101	278	381
1月	23	79	3	2	6	1	0	37	5	42	0	0	133	0	0	0	0	0	1	9	1	9	9	80	14	12	118	233	366
2月	25	92	9	3	7	0	0	86	9	95	0	0	206	0	0	3	228	1	5	0	0	4	233	85	6	13	258	595	801
3月	27	92	5	1	1	1	0	63	4	67	0	0	167	0	0	1	3	0	0	0	0	1	3	85	4	4	133	227	394
計	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	8,510	15,184	16,924

●常設展観覧者数累計

年度	開館日数	有料観覧者										無料観覧者										観覧者総数							
		個人		団体(割引20%)		減免(割引50%)			有料観覧者計	学校教 育					個人				無料観覧者計										
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	大人		高齢者	障害者	計	高校・大学生	小・中学生	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校		計	小学生		中学生	高校生	その他				
22	121	909	33	6	66	0	0	790	49	839	0	0	1,853	9	540	15	851	2	12	1	15	27	1,418	1,259	60	37	3,432	6,206	8,059
23	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	8,510	15,184	16,924
計	430	1,804	110	19	137	44	0	1,346	133	1,479	0	0	3,593	10	630	47	3,030	9	653	4	347	70	4,660	4,209	330	251	11,942	21,390	24,983

●平成23年度 企画展観覧者数

企画展名	開催期間	開催日数	有料観覧者										無料観覧者										観覧者総数							
			個人		団体(割引20%)		減免(割引50%)			有料観覧者計	学校教 育					個人				無料観覧者計										
			一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	大人		高齢者	障害者	計	高校・大学生	小・中学生	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校		計	小学生		中学生	高校生	その他				
鳥居龍蔵の見た台湾	H24.1.28 H24.3.11	38	549	21	1	14	1	0	559	34	593	0	0	1,179	0	0	3	228	1	2	0	0	3	230	775	32	20	363	1,420	2,599
合 計		38	549	21	1	14	1	0	559	34	593	0	0	1,179	0	0	3	228	1	2	0	0	3	230	775	32	20	363	1,420	2,599

●特別陳列観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た北東アジア	平23.10.29~12.4	32	4,534
合 計		32	4,534

●人権啓発展観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
2010年度人権問題啓発展	平22.11.30~12.5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平23.12.6~12.11	6	383
合 計		12	1,053

●その他(啓発展を除く共催事業)観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た「祭り」[踊り]	平23.7.20~23.8.28	36	4,038
合 計		36	4,038

14 観覧者統計

●利用者総数年度別一覧

年度	常 設 展		常設展 観覧者 合 計	企画展 観覧者	特別陳列 観 覧 者	普及行事 参 加 者	その他	利用者総数
	有 料 観覧者	無 料 観覧者						
22年度	1,853	6,206	8,059	0	0	236	670	8,965
23年度	1,740	15,184	16,924	2,599	4,534	412	4,421	28,890
累 計	3,593	21,390	24,983	2,599	4,534	648	5,091	37,855

・特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数。

●（参考）鳥居記念博物館（旧館）の観覧者数（平成15～21年度）

年度	有 料 観 覧 者									無 料 観 覧 者								観覧者 総 数	
	個 人			団 体				高 齢 者	有 料 観覧者 計	学校教育（免除）			個 人						無 料 観覧者 計
	小・中	高・大	一般	小・中	高・大	一般	一般			小学校	中学校	高校	小学校	中学校	高校	障害者	その他		
	70円	120円	240円	50円	70円	120円	190円	120円	小学校	中学校	高校	小学校	中学校	高校	障害者	その他			
15年度	25	14	3,003	0	0	69		410	3,521				648	349	40	26	721	1,784	5,305
16年度	12	144	2,600	0	29	185	72	488	3,530	114	292	0	419	71	53	19	1,305	2,273	5,803
17年度	6	129	2,642	1	196	366	0	479	3,819	131	0	0	513	78	44	19	1,161	1,946	5,765
18年度	7	124	2,242	0	0	187	0	399	2,959	0	11	0	457	67	40	27	1,383	1,985	4,944
19年度	7	132	2,089	0	1	331	0	466	3,026	158	238	0	364	76	40	27	1,220	2,123	5,149
20年度	6	120	2,176	0	1	189	0	460	2,952	104	17	77	364	85	39	18	1,212	1,916	4,868
21年度	18	68	1,970	44	2	247	0	489	2,838	0	0	101	1,040	276	36	17	3,938	5,408	8,246

VII 施設の概要

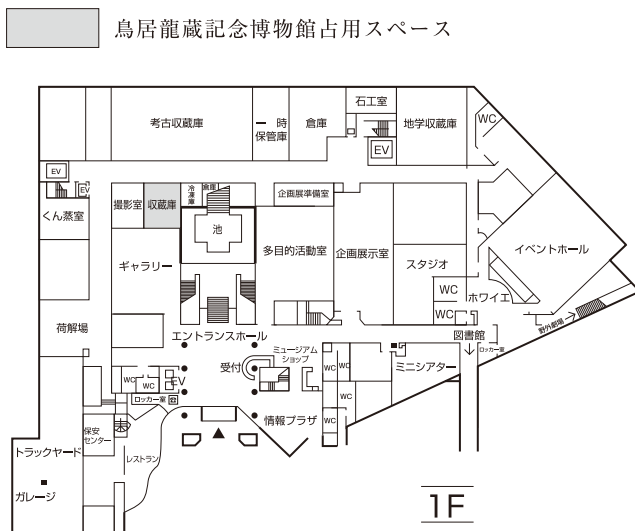
1. 沿革

- 昭和40年 3月 鳴門市撫養町の妙見山に旧館（徳島県立鳥居記念博物館）開館
- 平成18年 7月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会設置
- 19年12月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会が「鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会報告書」を知事に提出
- 20年 3月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会設置
- 7月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会が「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（仮称）展示計画書」をとりまとめ
- 21年 3月 展示実施設計完了
- 7月 展示工事着手
- 22年 3月 旧館閉館
- 9月 展示工事竣工
- 11月 開館

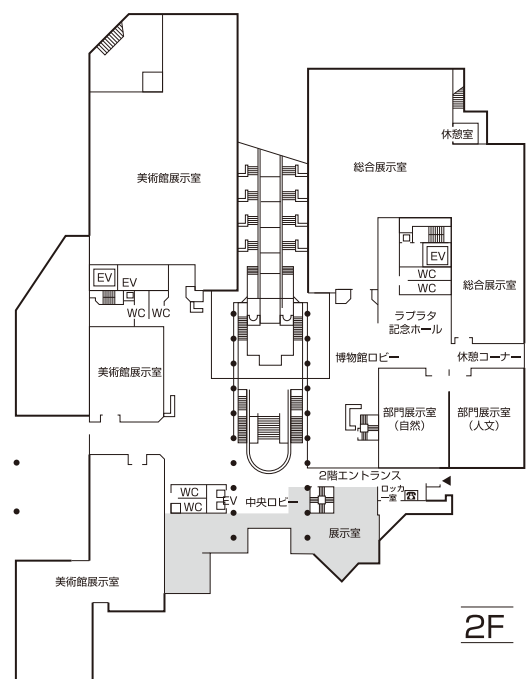
2. 施設の概要

- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha（文化の森総合公園全体）
- 延床面積 485㎡（展示室、収蔵庫、器材庫等鳥居龍蔵記念博物館占用スペース）
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階
- 改築工事 岡島建築事務所（設計）・小野建設（施工）
- 展示工事 (株)丹青社（設計・施工）

1階平面図



2階平面図



(※) 鳥居龍蔵記念博物館の占用スペースのない階は平面図を省略した。

VIII 例 規

●徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
最近改正 平成24年3月26日 徳島県条例第31号

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。)	1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立二十一世紀館の業務は省略)

(利用の許可)

第3条 (省略)

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 (省略)

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

(他館の各協議会の所掌事務は省略)

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
 - 3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
 - 4 (省略)
 - 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 6 委員は、再任されることができる。
 - 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
- (教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表第1 (第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体 (20人以上をいう。以下同じ)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒	1人1回	50円	40円	知事はその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
その他の者 (学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。) の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1)月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律 (昭和23年法律第178号) に規定する休日 (以下「休日」という。) に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日
- (2)12月28日から翌年の1月4日までの日

2 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館長 (以下「館長」という。) は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 鳥居記念館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者
- (2) 前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し、必要な事項は、館長が定める。

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第5号
最近改正 平成24年3月31日 徳島県教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

●徳島県教育委員会行政組織規則〔抜粋〕

制 定 昭和45年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号
最近改正 平成24年3月30日 徳島県教育委員会規則第9号

第1章 総則（省略）

第2章 事務局（省略）

第3章 教育機関〔鳥居龍蔵記念博物館に該当する条項のみ抜粋〕

(名称及び位置)

第27条 文化施設条例により設置された徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島市八万町向寺山

(内部組織)

第28条 鳥居記念館に学芸課を置く。

(業務)

第29条 鳥居記念館の業務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。
- 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。
- 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(所長等の職務)

第32条 総合教育センター及び埋文総合センターの所長、文書館及び二十一世紀館の館長は、上司の命を受け当該教育機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

(副所長等)

第33条 上司の命令を受け、教育機関の長を補佐させるため、次の表の上欄に掲げる職を同表の相当下欄に掲げる教育機関に置く。

職	教 育 機 関
副 館 長	図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館

(主幹等)

第34条 前条に規定する職のほか、教育機関に、次の表の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の相当下欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
課 長	上司の命を受け、課の事務を処理する。
上席学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する専門的事務に従事する。
専門学芸員	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
学芸係長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に関し命ぜられた事項を処理する。
主 任	上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は技術もしくは専門的事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
学 芸 員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。

(司書、技師その他鳥居記念館に置いていない職は省略)

(附属機関)

第37条 附属機関の名称、庶務を担当する課等又は教育機関は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	庶務を担当する課等又は教育機関
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館

(事務局の各審議会、他館の協議会等は省略)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第2号 (平成23年度)

平成24年(2012)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088-668-2544 Fax. 088-668-7197

Eメール torii-museum@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホームページ <http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

印 刷：原田印刷出版株式会社
